



ささやまっこだより

8月号



令和8年8月1日
篠山保育園 園長 足立善一郎

先日の地震は大きかったですね。午後4時30頃は遊びながらお迎えを待つ状態でしたが、園舎が揺れたのと同時に1階保育室の子どもたちは、瞬時に机の下に隠れ揺れが止まるまでしずかに避難することができました。地震訓練の賜物です。

保護者の皆さんは、大丈夫だったでしょうか。

“ばら組のおとまり会 大成功” (7/18,19)

年長ばら組さんのおとまり会がありました。何週間も前から予定を確認し、楽しみにしているようすがひしひしと伝わってきました。保護者の皆さんにとってもわが子と一日離れて過ごすという一大行事でもあったようです。おとまり会では「自分のことは自分でする」そして「なんでもできるんだ」という力を確認してもらう行事でもあります。当日は、天候にも恵まれ、計画通り進めることができました。プールでの宝探し、カレーライス作り、ゲーム大会、そして夜はキャンプファイヤーと打ち上げ花火大会と盛りだくさん。シャワーで汗を流し就寝。大好きな仲間が一緒だとなんでも乗り越えられる「気持ち」を強く感じたように思います。

保護者のお迎えの時には“お父さんやお母さんの顔をみて照れている子”、“大丈夫だったよと誇らしげな姿を見せる子”と充実感に溢れていました。



えのぐめりめりボディペインティングとみずあそび

どろんこあそびで解放感を味わった子どもたちは次に“ボディペインティング”で楽しみました。絵の具の感触を満喫しその後は、自分や友だちの体に絵の具を「ぺたぺた」。その勢いで「せんせいの洋服にもつけちゃえ!」。素敵な模様の洋服ができました。



9月の行事予定表

8月の行事予定表

8日(土) 園内研究会
19日(水) 避難訓練
20日(木) プールあそび終了
25日(火) 誕生会

17、31日…えいごであそぼう(ばら組)

24日…えいごであそぼう(ふじ組)

7、21日…スポーツ教室(ふじ・ばら組)

9日(水)

10日(木) 榎原中学生職場体験

12日(土) 園内研究会

16日(水) 避難訓練

29日(火) 誕生会

14日…えいごであそぼう(ばら組)

7、28日…えいごであそぼう(ふじ組)

4、18、25日…スポーツ教室(ふじ・ばら組)

篠山保育園にいる大人 みんなで園の子どもたちを育てましよう

先日、1階の廊下いた園児がお迎えの保護者に向かって大きな声を出しお母さんや一緒にいた小さい子を泣かせてしまったという出来事がありました。そのような時には、ぜひ大人として叱っていただければと思います。難しいと感じた場合は近くにいる職員に声をかけてください。その場で子どもに指導します。他人に迷惑をかけたり、人を傷つけたりする行動は許されないのだということを、園に関わる大人たちで子どもたちに丁寧に伝えていきましょう。

最近特に感じることなのですが、残念なことに、子どもたちの中には、他人に対する緊張感が希薄で、初対面でも躊躇なく他人に心ない言葉をかけてしまう場面を多く見かけます。そんな場面を見かけた時、ぜひその子に直接話してあげてください。子どもたちの心の成長のためにも皆さんのご協力をお願いします。



お知らせ

先月、事業後援会(保護者会)の役員さんのご紹介をしましたが、やる気のあるお父さまが追加入されましたので紹介します。ばら組「山田裕太さん」です。 よろしくをお願いします。



職員の産休のお知らせ

担当クラスの保護者にはお伝えしていますが、もも組担任の石橋保育士が8月8日から、ふじ組担任の吉富保育士が20日から、産休に入ります。もも組は野田真璃子保育士、ふじ組は森千恵子保育士が2人の復帰まで代替で担任をします。よろしくお願いします。

ご案内

8月5日(水)は、筑後川花火大会です。お迎え時間帯は、保育園周辺の道路が渋滞しますので、いつもより早めのお迎えをお勧めします。



8月20日(木)をもってプールあそび終了

汗を流すためのシャワーは引き続きしていきますので、もも、ふじ、ばら組さんは、タオルをビニール袋に入れて毎日持たせてください。水着はいりません。

(プールカードの記入は引き続きお願いします)

※すみれ、たんぽぽ、さくら組の保護者の皆さん、毎朝の〇×記入のご協力ありがとうございました。



『もう一回やって見せてよ』

手先が器用になってくると、いろいろなことにチャレンジします。以前できなかったことでも、やってみるとできるし、「おもしろかった。しかも自分の好きなことだ。」するとそれに熱中してしまうわけです。熱中することによって、更にできるようになる。できることの幅が広がる。そこでまたおもしろくなる。そして、そのうちにそれが「楽にできる」というところまで徹底して行きます。「楽にできる」となると、夕立がぴたりとやむように「もういいや」で突然放りだしてしまいます。そしてまた、次のターゲットを探すようになるのです。「今までの熱中って、いったいなんだったのかしら」。お母さんは戸惑います。しかし、これが成長のプロセスなのです。「いつまでやるつもりなの？」はNGです。

子どもは、同じことを永遠にやり続けることはありません。必ず卒業します。これが人間の成長の典型的な姿なのです。飽きっぽく見えるのも成長のしるしです。「もう一回やって見せてよ」「楽しそうね」「どんなところがおもしろいの？ママに教えて」子どもはイキイキしてきます。

「子どもが育つお母さんの言葉がけ」 汐見稔幸著 より